

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

資料1

令和3年1月 日

協議会名: 秋田市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針
<p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現計画の進捗状況の整理、目標達成状況や取り組みの検証</li> <li>・社会情勢、公共交通を取り巻く環境の変化の把握</li> <li>・市民の公共交通に関する意識調査</li> <li>・秋田市地域公共交通計画(案)のとりまとめ</li> <li>・協議会の開催</li> </ul> <p><b>【結果概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現計画の検証、公共交通を取り巻く環境の変化等の把握、基礎データの整理を行った。</li> <li>・市民アンケート調査により、公共交通に関する意識や需要を把握。</li> <li>・計画の素案を作成し、協議会で承認。</li> <li>・パブリックコメント実施(令和3年1月)</li> <li>・協議会の検討を経て、地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。</li> </ul>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された(される見込み)。</p>	<p><b>【基本的な方針】</b></p> <p>まちの変化に柔軟に対応し、誰もが自由に移動できる、将来にわたり持続可能な公共交通サービスの実現</p> <p><b>【取組の視点】</b></p> <p>多核集約型の都市構造を形成する公共交通網を整備し、運行の適正化による幹線軸の利便性向上を図るとともに、マイタウン・バスを含む支線軸の確保、にぎわいの創出等に資する域内交通の充実、交通結節点における鉄道とバスの連携強化を図る。</p> <p>また、利便性向上施策とあわせ、交通事業者、地域住民、行政が一体となって、タクシー等小型車両の活用も含めた、地域の特性に応じた持続可能な公共交通サービスの確保に向けた取組を進める。</p> <p>特に、コロナ禍における市民の公共交通離れが懸念されるなか、未来の姿の実現に向けた公共交通サービスの維持や適正化に向けた取組を進める。</p>